

2014 年 10－12 月期四半期別 GDP 速報（1 次 QE）
公表に際しての甘利経済財政政策担当大臣談話

2015 年 2 月 16 日（月）

1. 本日公表した 2014 年 10－12 月期 GDP 速報（1 次 QE）では、実質成長率は前期比年率 2.2%と、3 四半期ぶりのプラスとなった。

今回、10－12 月期の実質 GDP 成長率がプラスになった要因としては、雇用・所得環境の改善傾向を背景とした個人消費や、アメリカや中国向けの輸出などがプラスに寄与していることが挙げられる。

また、GDP デフレーターは、前年比で 2.3%上昇し、前期よりもプラス幅が拡大している。これはデフレ脱却に向けて好ましい状況である。

2. 先行きについては、各種政策の推進等により、雇用・所得環境が引き続き改善し、好循環が更に進展するとともに、原油価格低下等により交易条件も改善する中で、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれる。

3. 政府としては、経済の好循環を確かなものとするため、昨年末に閣議決定した「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」及びこれを具体化する平成 26 年度補正予算を迅速かつ着実に実行するとともに、平成 27 年度予算及び関連法案の早期成立に努める。

また、過去最高水準の企業収益を賃金の上昇につなげていくことが重要であり、昨年の政労使会議の合意に沿い、今年も賃上げがしっかりと実現することを期待している。

（以上）